





一者預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利  
龍山元町二丁目 電話一八八番







第三百四十

A black and white woodblock print illustration of a Japanese interior scene. On the left, a woman in a patterned kimono sits on the floor, holding a small object. In the center, a man in a dark kimono sits on a low table, holding a long pipe. To his right, another man in a striped kimono sits on the floor, looking towards the central figure. A small brazier sits on the floor in the foreground.

はれば何ぞと申上様もないお氣の毒な御身の上、世の中には不運漂命な人もあるもの、正しい不肖なれども宮本武藏様にかゝり助太刀いたし、尊父の敵長束傳八郎を討取つて、岡崎氏が徳經の家執を暗らして遊せる、お心強うお持ちなざるやう、雪一有難う存じます、武藏御舍弟左門殿の身の上も及上殿、尋ねます心得、必す御心配なさるな、佛し世の中は不思議なものと岡崎氏の御息女が斯様な所に勤めをして居られるとは思ひも寄られぬ、雪一附う仰せられますとお恥かしい、面目もございせん、武藏併し一浮一沈は人生の常、決して恥ぢる所も悲しむ所もござらんから、心配せなかに未をお待ちなざるやう、と懇切に慰めながらお雪は嬉し涙に零れて居ります、雪時經つて武藏、武一其れ并になつて居るとは氣が付かない

爲期定したか知れないけれども、  
 太夫二人もある、若太で焼酎で喝  
 酔て足の大きさは組板ぐらゐる、  
 醜男といふのもあるけれどもこれ  
 は念の入つた方の醜男で、流石遊女で  
 是客ばかりは對手にならぬといふ  
 厄介な人物でございます。兎して  
 井なをが膝かねのは尤も、けれども  
 根氣よく通つて參ります。今宵も宮  
 本の歸つた跡へ違つて來たが雲井は  
 武藏に逢つて居るから氣が強い、手  
 酷く振付けて了ひました。如見齋さうけん  
 ゴゝ引取つたが其後雲井には宮本  
 武藏といふ後桐があるから容易な者  
 には勝かぬといふ噂が立ちました、  
 如見齋之れを聞いて地廻太路で横  
 つた、處へ稻妻の平九郎が來て先達  
 吉原で乾乾が宮本のために酷い目に  
 遇つたといふ話をしたから如見齋  
 は怒り心頭に燃上り、如く憎い奴は  
 宮本武藏、什麼かして此後齋をしな  
 ければならぬといふ人共を集めて相  
 成をしたが、再び稲妻組が宮本を  
 附取をしたが一條。

入院隨意（診察夜九時迄）

**科徽**

生勝麻 殖脱麻 器病毒 能障障

機障障

日 曜 祭 日 午 後 二 時 迄

藤 田 醫 院

(番三七一話)

八月十七日 九星

舊七月十九日 丙戌

本命 八白且滿先勝

八月十七日 九星

舊七月十九日 丙戌

本命 八白且滿先勝

[illegible]

大正館

第五名金 第九編  
 梅川忠兵衛

[illegible][illegible]

**酒煙草** になる薬  
禁煙丸 禁煙液  
んな酒煙草のみで苦なく心から  
になる癖を一錠投じては説明書及び說明書を  
**博士の禁煙論進呈**  
本館 大正市楊南通二丁目森田商店  
業前倒收益五割自轉車を給與す  
に一名づつ

宅にて人知れず安全秘密に治療せしめ  
 ありて只一劑を試し切手三錢返れり  
 藥と自宅療法の詳細を報す  
 各處通市有かりや町 武藏龜吉  
 衛生 必携品  
 十個四十錢より十個六十錢以上一割  
 五錢代用一個八十錢以上一割  
 京券代用一個八十錢以上一割  
 京城黄金町三振替 山成三二七番  
 京都文殊堂藥房

**美味なる▽**

**虫下し**

**最良薬**

元價五圓・十錢・廿錢・五十錢  
▲美味なる▽  
▲虫下し  
▲最良薬  
▲坐下し最良藥  
▲さんごにやくわー  
▲平瑞鳳屋通算子  
大坂東區南船場町  
本舖 右邊大津堂  
▲内外諸店に在り

主 治  
能効治  
虫腹いたみ、疳熱の虫  
虫胸あしく、勞熱の虫  
虫せき、驚風の虫

近來粗惡なるにせもの蠟出ず皇居の  
爾等と岩崎大街堂に御注意を乞ふ  
廿六日の冊二紙分入て諸人に賜  
煩よく常用と造物に被てす

京城龍山元町一二丁目  
角民園前(竜崎一七番)  
**杉本** 科**醫師院**  
齒科醫學士 杉本 蔚



### 石鹼試驗法

ルコールを注ぎ好く攪り混せて火に炙れば、試料の石炭は溶解となる。若し混合物が多れば、注ぎし溶液量も多ければ溶解が見ゆる。天演融アルカリを食ひものは紅の液にフェニールフタレイ

花王石鹼

千  
萬  
言  
の

説明を聴くよりは、此の  
一管の實驗を御覽なさい

斯の如く純良無上の品質なるが故に  
絶えず帝國陸海軍、帝國大學、赤十字  
病院等の採用品となり、化粧衛生  
の第一品として滿天下に  
賞讃を博するのです

元入陸本日水香鶴  
 店總代西國地石王花  
 町土安坂大  
 會商組舖大  
 元總對館石王花  
 店西代東國水香鶴  
 町土馬京宣  
 會商組舖大

今東京で大評判の白美の元素色黒く顔赤く顔日やケおしろいやケ、アレ防キもコマカ根本的色白く身入髪男  
 全国の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時代金火の氣也切手を送る送品東京和泉廣瀬グン液本館 松本

七目ツケタラ鏡をどろり色白くなるゲンシ液

現代家庭の寵兒!!!

モモタロー 著 音器

小型の可愛らしいチクオンキ

▲寸法 (小版、九吋正方形、上部、八吋、正方形高々四吋半 (大版、十一吋半同様に、十吋半、四品、六吋)

▲重量 (小)全量四百八十匁 (大)八百四十匁ニシテ其ニ機好ニ變ナリ

▲用材 (小) 栓、樹 (大) 柱、樹

▲価格 全貳拾圓也

モモタロー音器は、直徑五吋半 兩面壁にて四分時の演奏をなす

(御地の販賣店又は 東京總經本店へ 郵便文願上納)

ニポノホ











**▲秘密を一つ**

お傳授しませう。皆様はよく、少しも感心しない所がなく、極く自然的にすつきりさしに氣持の快いお化粧瓶の人を御覧に當てようとして陸軍お化粧上手の方が何か

**▲一種特別の**

秘密な道で行らないでは彼あは行かぬとお思ひになるでせう。所が案外にも彼秘の化粧が實に劣なく出来る時節と成しました。彼は有名な桃谷研究試験部で、顧問の丹波の下に技師の三藥學士が完成した白色美顔水でお化粧したのです。

**▲山本岡博士**

さあ直試して御覽なさい。實に劣なく實に見事に全で生れつゝ色が白い人其儘の白さに附ます。一體

**▲従來の婦人**

のお化粧は白ペンキの様白い何ぞなく薄黒い白斑かで、凡て慈まらしいか又は充分に綺麗に行かないので、婦人の苦惱の種になつてゐたのですが、白色美顔水で此

に解決されましたので、輸入方の引受け上です。然る大體な人氣を惹きつけたのです。此品は一見した處は水白粉の形ですが、併しお使になれば直にお分の通り、決して

**▲心配が満足**

白粉を溶込んだ様なものでなく、専門學者が新に豐收した美容成分で、從來使はれた事の無い美容上の効力の優く強い原料へ、或は殊の白粉を溶込んで製したもの

**▲普通の水へ**

さいふべき総量が強く、光澤の優美しく、色の清淨純白な質の極緻原料と親交容成分の不思議な作用で、生れつゝ色が白い様にづく化粧突のみならず更に生理的

**▲皮膚の營養**

となり素顔の美を用ず特色が在ります。自然的な本統に美しい化粧の途は此品で始めて開かれました。お肌の三藥學士も、是は確に成績だ。ミ言つて自信を示してゐる。

**桃谷研究試験部**

▲藥學博士 千葉滋學士	▲藥學博士 桑孝學士	▲醫學博士 山丹博士	▲醫學博士 山波淳二氏
齊小桃	廣谷善次郎	藤井大次	助郎郎

主 任



「あら、何日?」多分、い思をしたからでせう。いねに、大したこぢやないの。喉が少し痒々するだけ。」「済みませんでしたのね。お詫をしますわ。どうぞお大事に遊ばして……お然でもおんなすつて。」「い、い、そんなぢやないの。心配しないうちにして下さい。お前の爲なら私、病つて死んだところが想がないの。わ、實際!」

「あら、彼、腰こを……。秀子は心に沁入るやうな感しさに打たれた。」「だがよござんしたわね、大成功で……皆さんも大満足で歸つたかしかったわ。私餘り嬉しいのね、昨晚あなたが、まんぢうとせせず明してつたくらゐ。真顔にあのダンスは

いひかけてから、隣室が住江の節女によつと氣がついた。で、急受講機を耳から離して椅子を虎ノ室の端は肅然としてゐたので、住江は居ないのかと稍と安堵して「迎の、藍なんですわ。つまり同じ天の尊い血を與へて下すつた結果でわ。母さま。」「オホ、へ、爾うかねわ。輝子はの無邪氣な語を笑にうけて「それ附と秀さん。大機よ、大機なこがあつてよ。」と聲に力が入る。」「わつ、何ぞ、大機?」だしけに怯かされたやう。」「實はね、先刻始めて發見したこなんですがね。ほら、お前に見せ上げたお父さんの寫真ね。」「は、昨晚の……」

古て是處の太婆山よりす  
出で歸隱の志惜しき哉書す

松岡固年

捨屠雞鳥髪の夢に肌着欲し  
鬼火や即連焼の出つん

同

新刊紹介

◆最新實業家庭經濟講話(條田判聖) 家  
政生活、家の經濟學、家政學といふ海峽地理、安  
穩な生活、廣く利用法等を説く。近來社會主義  
して必要なる事項を逐條列せりものとせば、  
するもの、其の好時期をのみせんとして、折  
衷の特典より健全なる發達に至り(會社組織  
東京市下谷區三田町三四番地通信局後)

◆滿蒙研究叢報(八月號) 資料豐富に日露  
協約終結及び沿河開港、無難に於ける  
租界問題、日美關係の關係、滿蒙地方等々、時事考  
各國東洋に及ぶ商業經濟論、北支那と北支那  
開發の大命題、滿鐵對策、支那經濟、經濟  
財政權に及ぶ經濟政策、西伯利亞問題、支那  
邊境支那行政機關との關係等々、其他種々益  
便備極便利客棧等、俄然一覽(台日日報社發行)  
乃木清談社分會)

電気水滸(八月號) 家門家の手に取り常に  
最新の學理、精確なる知識と共に、社會化生  
に關する事項、記述なる體裁にて、其の性質係  
に於ける要約あるべし(二十五錢、東京市麹町  
區有樂町一丁目三十三番地丸世社)

子供の育て方(醫學博士吉村善長著) 家

の茄子の味は恰も萩の茄子に尤も似たり甚だ氣づかしき年柄ならずや有川二「此頃水屋のビールを飲むと忽ち下痢すると云ふのは不良ビールを水で冷して置いて飲ますからだ不飲飲料を取調の際には斯う云ふものな注意をして貰いたい(被害者)」果中の魚類は大概まいつて居る氷で肉を包めてあるから氷がなくなれば全く腐爛の様に成る腸の痼氣などの此頃少しの此種物を食ふからだ(醫生)僕の住宅前路上に毎日汚物運搬車何十臺も並べて實に困る何となくを選んで一定の場所に置いて貰ひい(長沙洞生)「汚つた水の水を飲まして置いては少しの違反がある告發する京城水巡視の機嫌には入つたものだ(泥水飲)」

**胃腸最良藥**

取日本  
三十三國之各女給對



目眩寒熱、食慾不振、  
胃弱等の恢復期に  
養育路の目的にて用  
の病型小兒の變遷を  
其時々に實用せらる  
當用すれば速效を得  
と努力を認むにす。

**子ゲスチン**

院內會通品  
合資株式會社  
面城商隆

[illegible]


 長壽靈品は「ヨックルト」  
 荒井の牛乳  
 滋養 健康 毎日  
 魚肝油 乳販會部  
 電話 〇〇四番  
 京都本町二丁目  
 前田酒店

[illegible]

鐵道用具  
其他工業用草  
鐵道  
白神洋行  
鮮總代理店  
仁川本町四丁目  
大坂道頓堀大黑橋北詰  
漆屋內替店  
京城南山町本願寺下  
立寄  
壹圓  
月利  
金  
因心給年

恩給年金  
西村商會


大日本國產  
純良品質  
標津產御影町  
藤道元  
嘉納合名會社  
京成本町二丁目廿番地  
發賣元  
前田酒店  
電話一三七五  
發賣口座四二五



京城旭町一丁目  
内科小兒科 小林 醫院  
入院隨意 (普通病室也  
臨應病室) 醫學士 小林 千三郎

總切叮嚀 此膏在市內配達及  
 地方通信販賣致居候  
 事候不野言配達局前  
 諸商  
 所用足  
 洋藥  
 賣藥  
 即問屋  
 醫療及試驗器械  
 山岸  
 山岸天祐堂 藥品部  
 電話 二〇二  
 秋田野台  
 山岸

常銀行ハ預金・貸附・爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候  
東京城

 朝鮮銀行

電話  
一六三六  
一六三六  
一六三六

支店出張所  
東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎮南浦、群山、木浦、安東縣奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾濱、右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

池田 季雄

イゲダ小兒病内科醫院

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話 醫院 自宅 八八〇番


最上醬油  
 高杉仁川屋  
 高杉仁川屋  
 高杉仁川屋


[illegible][illegible]

**共同汽船出帆**

波大連行  
三寶壟  
大連行  
日役六時出帆  
第三寶壟  
正月  
須奈、廣原、壹岐、博多行  
天眞丸  
每月二日九日十四日午後十時出帆  
廿一日廿六日  
奉山津邊立新町  
本船及級店  
大池回漕部

[illegible]

 **日本郵船** 出帆  
 大連 太田生牛行  
 相模 九月七日 午後八時出帆  
 高砂 九月十六日 正午出帆  
 三河 九月十六日 正午出帆  
 電報 九月十七日 馬場 酒部

 **尼崎汽船** 出帆  
 昨山下 下船 神戸 大坂行  
 昔代丸 八月廿三日 午後四時出帆  
 神代丸 八月廿七日 午後四時出帆

[illegible]

〇〇〇〇	〇〇〇〇
豐昌	成興
城平	豐南
九九	九九
入月十五日	入月十四日
元山發	

平 陽 丸	永興 丸	江 陰 丸	三 浦 丸	統志 丸
每三月廿八回	每月廿八回	八月十六日	八月十七日	每日
元山發	元山發	釜山發	釜山發	釜山發

<p>宗廟 公州九 仁九 八月十五日 仁川發</p>	<p>公州九 八月十四日 木浦發</p>	<p>度興九 八月十三日 木浦發</p>	<p>度興九 八月十七日 木浦發</p>	<p>度興九 八月十七日 木浦發</p>
--	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

六 國 鐵 道	三 浦 水 門	鎮 南 龍 谷	安 東 縣 行	大 阪 商 船 出 帆	錦 江 丸	五 郎 丸	江 原 丸
九月十四日	八月廿七日	後二時出	八月十七日	每日午前	八月十五日	八月十六日	八月十六日
後二時出	後五時出	長崎行	大阪行	仁川發	仁川發	仁川發	仁川發

福州丸	八月十七日	後二時出
群山、釜山、橫濱行	九月四日	正午出帆
福米丸	八月廿五日	正午出帆
大連直行	八月廿五日	正午出帆
信濃川丸	九月九日	午後二時出
鎮南浦、大連行	八月廿二日	午後二時出
須磨丸、大國行	八月十三日	午後二時出

津浦	神戶	上海	安南	暹羅	汕頭	香港
神戶丸	神戶丸	神戶丸	神戶丸	神戶丸	神戶丸	神戶丸
八月廿二日	八月廿二日	八月廿二日	八月廿二日	八月廿二日	八月廿二日	八月廿二日
午後六時出	午後六時出	午後六時出	午後六時出	午後六時出	午後六時出	午後六時出
大阪商船會社	大阪商船會社	大阪商船會社	大阪商船會社	大阪商船會社	大阪商船會社	大阪商船會社
支店	支店	支店	支店	支店	支店	支店
電話	電話	電話	電話	電話	電話	電話
支店	支店	支店	支店	支店	支店	支店